

牛の感染症を予防しましょう！

1 飼育環境の改善

牛の快適性（換気、牛床、清潔な餌槽、適切な飼料バランス、密飼いの予防など）は、ストレスを減らし、生産性を向上させる上でも非常に重要です。

密をなくそう



2 病原体の対策

細菌・ウイルスが感染するためには、一定数量集まる必要があります。畜舎・衣服・長靴などの消毒・交換など、できそうなことからやっていき、細菌・ウイルスの数を減らしましょう。



しょうどくしょう

3 個体（免疫）対策

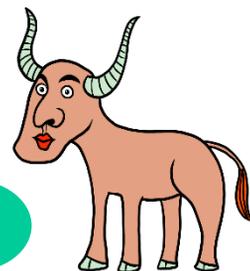
生まれた時の適切なタイミングでの十分量の初乳給与に加え、ワクチン接種も感染症の予防に有効です。特に秋から冬にかけて、呼吸器病が流行しやすくなる時期です。対策として、注射によるワクチンの他、鼻腔に投与できるワクチンもあります。

下記のワクチンは、岩手県南家畜衛生推進協議会で取り扱っていますので、主治医にご相談の上接種しましょう。

ワクチンの種類	対象予防疾病	投与時期	特記事項
ティーエスブイ3(生)	呼吸器病	随時	妊娠牛への投与は主治医と相談すること
牛ヘモフィルス(不活化)	呼吸器病		
牛下痢五種混合(不活化)	下痢	初年度、分娩予定日の45日前、15日前の2回	出生子牛の十分量の初乳摂取が必要
牛五種混合(生)	呼吸器病 下痢		妊娠牛、授精時期前後に接種しない
牛五種混合(不活化)	呼吸器病 下痢		
牛六種混合(生・不活化)	呼吸器病 下痢		
牛六種混合(生)	呼吸器病 下痢		妊娠牛、授精時期前後に接種しない

※ 早期発見に努めましょう

農作業が集中し、下痢などの疾病発見が遅れやすい時期ですので、意識的な観察を心がけ、異常のある場合は、早めに主治医に相談しましょう。



いつもとちがう…

岩手県南家畜保健衛生所

奥州市水沢佐倉河字東館41-1 (〒023-0003)

〔TEL〕 0197-23-3531

〔FAX〕 0197-23-3593

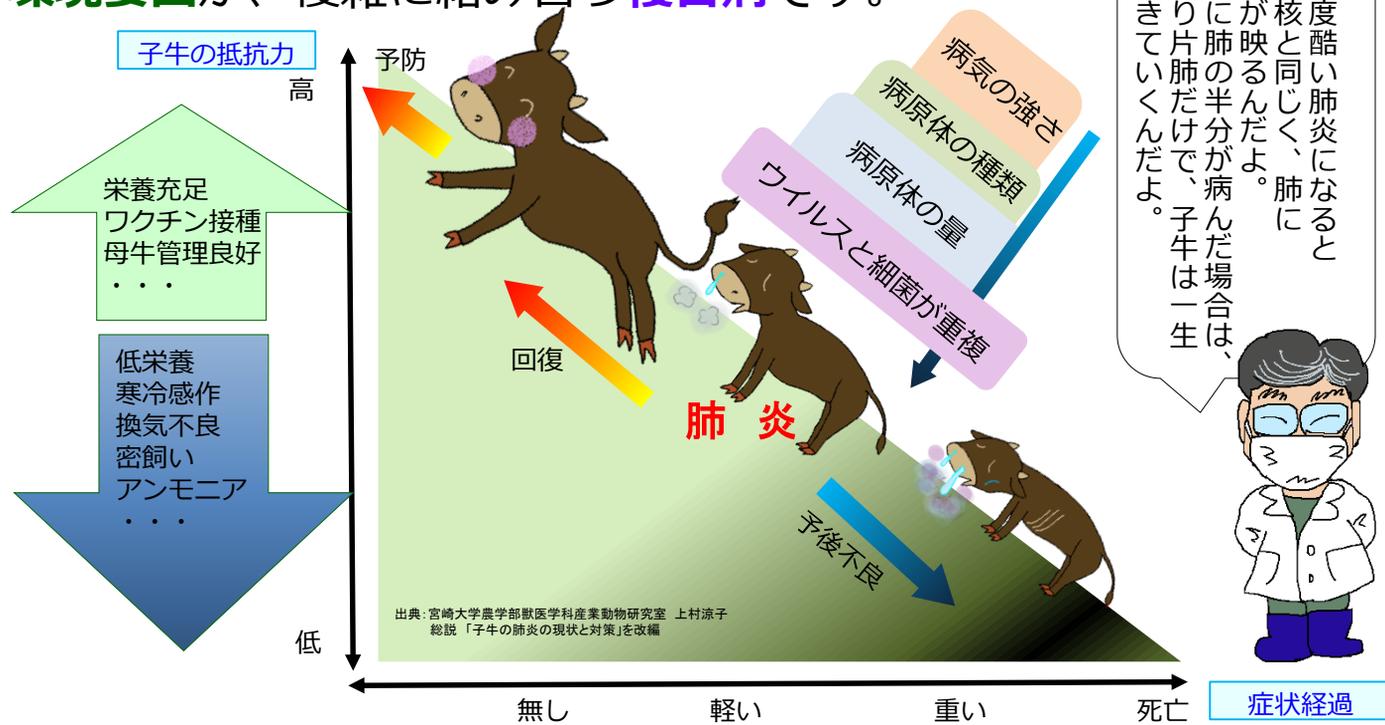
岩手県南家畜衛生推進協議会

〔TEL〕 0197-23-3531

〔FAX〕 0197-23-3593

子牛の肺炎メカニズム

子牛の肺炎は、**子牛（宿主）**・**病原体（ウイルス・細菌）**・**環境要因**が、複雑に絡み合う**複合病**です。

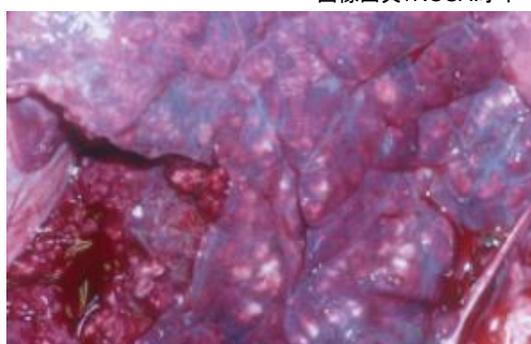


牛の肺炎の怖さは、治療を行ってもすぐに回復しないことです。増体が落ちたり、肺炎を繰り返すのは、このためです。

画像出典：NOSAIオホーツク（HP）



正常な肺



化膿して機能なくなった肺

愛牛を高く売るためにも、正しい予防対策に取り組みましょう。

岩手県南家畜保健衛生所

奥州市水沢佐倉河字東館41-1 (〒023-0003)

〔TEL〕 0197-23-3531

〔FAX〕 0197-23-3593